

令和7年1月20日

市政記者クラブ 様

健康福祉局高齢福祉部地域ケア推進課
担当：鈴木・森(972-2279)

個人情報が含まれる文書の誤送付について

このたび、健康福祉局高齢福祉部地域ケア推進課において、下記のとおり個人情報が含まれる文書の誤送付がありましたので、ご報告いたします。

記

1 概要

令和7年1月14日(火)、はいかい高齢者検索システム事業の利用者270名に対して、令和7年4月以降の継続利用申請を案内する文書を当課から発送いたしました。

その際、利用者AさんとAさんの親族(見守り対象者)Bさんの氏名等が記載された文書を誤って利用者Cさん宛ての封筒に同封してしまいました。

また、利用者CさんとCさんの親族(見守り対象者)Dさんの氏名等が記載された文書を誤ってAさん宛ての封筒に同封してしまいました。

令和7年1月17日(金)、Aさんから、Cさん宛ての文書が同封されているとの申出があり、誤送付が判明しました。

2 漏えいした個人情報

Cさんの氏名、Dさんの氏名、利用者番号、月額利用料助成区分

3 対応

令和7年1月17日(金)、Aさん及びCさんの自宅を訪問し、謝罪のうえ、入れ間違えた文書を回収しました。その後、正しい文書を改めて交付しました。

※ Cさんは封書を開封していなかったため、Aさん及びBさんの個人情報は漏えいしておりません。

4 原因

個人情報を含む文書を送付する際は、封入時に複数職員によるダブルチェックを行うこととなっておりましたが、その徹底が十分ではありませんでした。

5 再発防止策

文書と封筒のあて先の不一致が起こらないようにするため、今後は、窓付封筒を使用する取り扱いに変更することとします。

また、課内の全職員に対して、改めて個人情報保護の重要性について注意喚起を行いました。